

春風秋雨相

江利川毅 県立大理事長



今年はどうな年と言えろか。一言では無理があるが、世界的には自国第一主義的な傾向が強まり、国内はなお明るい展望を拓ききれない状況にあるように思う。

■世界に変化のうねり

6月の国民投票で、イギリスは欧州連合（EU）を離脱することになった。それは、イギリスのヨーロッパでの中樞マーケットとしての地位の喪失につながり、経済活動や雇用状況に大きなマイナス影響を与えることにつながる。

一方、イギリスでは移民難民と国民の区別なく社会保障が適用され、移民難民を多く受け入れると国民の負担が増えることになる。EU加盟国は難民の受け入れを拒否できないので、これ以上の負担増を嫌う国民がE

2016年を振り返る

■国内は課題先送り

両者とも本格的な動きは来年からである。国際世界は、直面している課題に新しい動きが加わる。その中で、わが国はどのようなスタンスで対処していくのか。課題の山はさらに大きくなり、難しい舵取りが続くことになる。

U離脱に賛成したと思われる。長期的構造的な観点より、短期的即物的な視点が支持を得たとも言えよう。昨年11月のIIS系の過激派によるパリ同時多発テロ事件の影響もあったと思う。

わが国の政治は、自民党一強の状態が続いている。難しい課題ではあるが、デフレ脱却も想定通りには進まず、消費税10%への引き上げを2度も先送りし、社会保障の充実も財政の健全化も想定より遠のいている。今日も豊かな社会、少子化高齢化が進む社会において、国民の需要の切身が変わり、経済政策のあり方も質的に変えていかなければいけない。

今不足しているのは介護や保育のサービスである。給与を引上げ、そこで働く人材を確保

■象徴天皇の在り方

しなければならぬ。もちろん、規定している。今上天皇は、この象徴天皇の在り方を深く考えて行動されてこられた。

忘れられない出来事の一つは、オバマ大統領の広島訪問。つて納得感の高い案を考え出し

■和の「工夫と努力」

12月10日にノーベル賞授賞式が行われ、大隅良典東京工業大が栄誉教授が生理学・医学賞を授与された。授賞理由は細胞内の自食作用（オートファジー）を解明したことである。この成果をもとに、様々な病気の治療

100歳まで10秒を切る選手がなく、一人も決勝に進めなかつたのに、日本チームは銀メダルに輝いた。

■リオデジャネイロのオリンピック・パラリンピックでの日本人の活躍も深く印象に残った。

リオデジャネイロのオリンピック・パラリンピックでの日本人の活躍も深く印象に残った。様々な競技で多くの選手が活躍したが、敢えて一つに絞ると、私は陸上400メートルを挙げたい。100歳まで10秒を切る選手がなく、一人も決勝に進めなかつたのに、日本チームは銀メダルに輝いた。

「自国第一主義」強まる

あの演説と振る舞いに静かな衝撃を受けた。年末には安倍総理が真珠湾を訪問する。同様の成果を残してもらいたいと思う。

12月10日にノーベル賞授賞式が行われ、大隅良典東京工業大が栄誉教授が生理学・医学賞を授与された。授賞理由は細胞内の自食作用（オートファジー）を解明したことである。この成果をもとに、様々な病気の治療

この一年、お世話になりました。よいお年をお迎えください。（次回は来年1月16日付）

この一年、お世話になりました。よいお年をお迎えください。（次回は来年1月16日付）

この一年、お世話になりました。よいお年をお迎えください。（次回は来年1月16日付）

この一年、お世話になりました。よいお年をお迎えください。（次回は来年1月16日付）

この一年、お世話になりました。よいお年をお迎えください。（次回は来年1月16日付）

この一年、お世話になりました。よいお年をお迎えください。（次回は来年1月16日付）

この一年、お世話になりました。よいお年をお迎えください。（次回は来年1月16日付）

この一年、お世話になりました。よいお年をお迎えください。（次回は来年1月16日付）